令和8年10月1日時点

令和8年度　地域振興推進費事業総括表

地域振興局	整理番号	事　業　名	事　業　概　要	事業期間
佐久	1	健やか佐久プロジェクト ～さくさく野菜を食べよう！からだを動かそう！みんなで健康づくり・フレイル予防～	今後増加が見込まれる高齢者が健康的に長生きするために、高原野菜の産地があること、ポールウォーキング等の産業立地などの佐久地域の特徴を生かして、県民一人ひとりが日常的にスポーツに親しみ、ライフステージに応じた食生活や運動を実践し、県民の健康増進を図る。 〇食育の推進と身体活動・運動習慣の普及のため、関係機関・団体等による連携会議の開催 〇佐久地域産野菜を使った料理レシピの情報発信や、身体活動向上のために取り組む関係機関・団体等による普及啓発フォーラムの開催等による、健康づくり・フレイル予防に向けた取組 〇食生活の見直しやフレイル予防に関する講座を開催し、健康ボランティアを養成	R8.4～ R9.2
	2	若手狩猟者育成事業	狩猟技術の習得支援やその魅力発信を行い、新たな有害鳥獣捕獲の担い手の確保と地域への定着を促進する。 〇佐久管内の狩猟者を対象に、県有林をフィールドとして、狩猟技術の習得支援や魅力発信を行う研修会を開催 〇研修会参加者が同じ地域の狩猟者との繋がりを持てるようコミュニティを設置	R8.4～ R9.3
	3	生食プルーンの美味しさを佐久地域から発信！	生食プルーンの認知度向上を図るとともに、県オリジナル品種「オータムキュート」の生産振興を図る。 〇生食プルーンを活用したメニューを楽しんでもらうスタンプラリーの開催	R8.4～ R9.3
	4	佐久平プレメディカルケア産業創出事業	健康長寿の先進地としての地域特性を活かし、病気の予防、早期発見・治療、健康増進等に関わるプレメディカルケア産業の創出を実現するため、地域の企業と医療機関・介護福祉施設が連携して、ものづくりとサービスが一体となった新たなビジネスモデルとなる製品開発を行う。 〇地元企業と医療機関・介護福祉施設等の連携による新たな製品の試作開発と販路開拓支援 〇「国際福祉機器展」における試作開発品の展示ブース出展、市場調査	R8.4～ R9.3
	5	初SAKE祝杯プロジェクト	若年層の日本酒離れが顕著になっていることから、20代・30代へのアプローチを行い、日本酒振興を図る。 〇大学生に参画してもらい、日本酒についての学習会や日本酒関係者等との意見交換会を実施 〇佐久管内の「二十歳のつどい」において日本酒のPR、イベントを周知 〇大学生による「若者が若者に日本酒を伝える」イベント実施	R8.5～ R9.3
	6	星降る高原　夜旅のすゝめ事業	佐久地域の観光資源や特産品の魅力を発信し、認知度の向上を図るとともに広域観光を推進する。 〇小海線の貸切列車によるツアーを実施し、星空やアクティビティなど佐久地域の魅力の発信と、特産品をPR	R8.4～ R9.3
	7	佐久地域の移住スタイル発信事業	佐久地域での働き方や移住者と子育てに関わる支援策等を発信することで、移住促進及びつながり人口の増加を図る。 〇地域の特色を活かした首都圏での移住相談会の実施 〇管内市町村や私立学校等と連携し教育移住を推進	R8.6～ R9.3
上田	1	令和8年度上田地域公共交通担い手移住支援事業	地域公共交通の安定的な維持及び移住促進のため、人手不足が深刻な課題となっている乗務員や技術者等を対象とした移住相談会等を実施する。	R8.4～ R9.3
	2	信州まつもと空港利用振興事業（レンタカー利用促進事業）	松本空港を利用して来県する旅行者（レンタカー利用者）に対し、「レンタカーDeぐるっ得パス」を配布（電子版も提供）することにより周遊観光を促進するとともに、認知度向上のためのPR活動を行う。（上田地域の掲載店舗等に応じた費用を負担。）	R8.4～ R9.3
	3	にぎやかな森プロジェクト	持続可能な森林経営に向けて森林の付加価値を高めるため、調査研究・評価により東信カラマツや森林に関するデータの見える化を図り、その成果を地域の林業経営者等に普及啓発する。	R8.4～ R9.3

地域振興局	整理番号	事　　業　　名	事　　業　　概　　要	事業期間
上田	4	ワイン用ぶどう生産支援事業	ワイン用ぶどう栽培者の栽培技術や同業者との交流促進を図るため、生産者技術セミナーを開催する。	R8.12～R9.2
	5	野生大型獣被害防止・トルコギキョウ立枯病対策実証事業	既存の電気柵に簡易電気柵を追加し野生大型獣の農作物被害を防止するとともに、トルコギキョウの立枯病対策技術を実証し、農業生産の安定化を図る。	R8.4～R9.3
	6	上田地域広域観光推進事業	1　しなの鉄道(株)と連携した上田地域の食、酒、温泉を活かした滞在型旅行商品の造成に繋がる施策の実施。 2　食の生産者と実需者を繋ぐ商談会や料理人同士の繋がりを創出し、地域食材を活用した観光地域づくりを推進。 3　信州DCに向け、サイクルツーリズム分科会を設置し、スポットマップ作成やモデルコース検討によりサイクルツーリズムの機運醸成を図る。	R8.4～R9.3
	7	人財確保・生産性向上連携事業	地域産業の未来を切り拓くため、経済団体のほか教育・金融・行政機関等が一体となり施策等の勉強会や産業人材の確保や生産性向上に資する取組を検討。	R8.4～R9.3
	8	伝統的工芸品の価値・魅力の情報発信によるファン拡大事業	上田地域の伝統的工芸品の価値・魅力を広く一般の方に伝え、関心をもっていただくファンを増やすことを目標に、産業ミライフェス等のイベントでの展示・製作体験、学生との連携による魅力発見ワークショップの開催等の実施。	R8.4～R9.3
	9	上田地域ワイン振興事業	ワインを機軸とした観光誘客を推進するため、都会のバイヤーや地元の飲食店等を対象としたワイン商談会の実施。	R8.4～R9.3
諏訪	1	コミュニティ放送を活用した地域情報の発信事業	地域住民に伝えたい、地域住民が知りたい諏訪管内の現地機関等の施策・取組等の情報を、ストーリーにも触れながらコミュニティ放送を通してタイムリーに発信し、地域住民の具体的な行動につなげるような広報を推進する。	R8.6～R9.3
	2	諏訪湖の水辺アクティビティ推進事業	諏訪湖創生ビジョンの目指す姿の一つ“湖上や流入河川では、ヨットやボート、カヌー、カヤックなどを楽しみ、湖畔の砂浜では泳いでいる人々の姿がある”の実現のため、地域住民の親水意識醸成に資するイベントを開催するとともに地域住民の意見を踏まえた効果的かつ継続可能な取組の検証を行い、諏訪湖での新たな水辺アクティビティの可能性を探る	R8.4～R8.9
	3	令和8年度「諏訪湖の日プロジェクト」ガイドブック作成業務	単に「諏訪湖の日」を認知してもらうだけでなく、地域住民が諏訪湖に思いを寄せるきっかけづくりという観点にも着目し、地域情報誌等への公報掲載や、電子版ガイドブックの作成などを通じて、「諏訪湖の日」の周知に向けた広報活動を推進していく。	R8.5～R8.10
	4	信州まつもと空港利用振興事業	まつもと空港利用者の増加を図るため、まつもと空港利用者がレンタカー利用時、観光施設等で特典が得られるドライブ観光パスポートの利用促進を松本、上田、木曽、北アルプス、長野の各地局と共同で実施する。	R8.4～R9.3
	5	諏訪地域自然環境イメージアップ事業	自然公園でのマナー向上と、自然環境保全作業のボランティア参加推進を図り、諏訪地域の自然環境のイメージアップを目指して、「霧ヶ峰ネイチャーパートナーカード（仮称）」を作成し、観光客に配布してマナー向上に活用するとともに、ボランティア参加者には「プレミアムカード」をインセンティブとして配布する。	R8.4～R8.11
	6	諏訪湖の水草ヒシ除去量の増加に向けた新たな刈取手法の検討事業	ヒシ除去量の増加を目指し、ヒシの刈取りを行う意思のある船舶事業者において、ヒシ刈りの効率化を図りヒシ除去活動を活性化するため、新たなヒシ除去手法として小型船舶にワイヤーを設置してヒシを刈り取る方法を検討する。	R8.4～R9.3
	7	世界かんがい施設遺産カード作成事業「滝之湯堰・大河原堰」	世界かんがい施設遺産に登録されている滝之湯堰及び大河原堰において、施設の魅力を伝え、訪問を促すきっかけとなる広報ツールとして、本カードを作成・配布することにより、かんがい施設の歴史的・技術的価値の未来への継承と、地域の活性化を推進する。	R8.4～R9.3
	8	諏訪精油プロジェクト	諏訪管内において会社や団体などで、精油（樹木の葉などから抽出したオイル）を製作、販売する動きがあるものの、材料調達方法、抽出技術及び販売方法が確立できていない状況にあるため、管内の代表的な樹種であるカラマツやシラカバなどの精油について、抽出方法の研修会の開催や、成分分析などによる販売促進を図り、諏訪地域や森林整備の活性化等に繋げる。	廃止

地域振興局	整理番号	事　業　名	事　業　概　要	事業期間
諏訪	9	ものづくり地域としてのエコシステム構築推進事業	地域企業の生産性向上及び次世代人材の育成を図るため、省力化・効率化等に取り組むベンチマーク企業を見学するとともに、見学を通じて得た学び・気付きをもとに、自社への展開を目指す勉強会を行う。	R8.5～R9.3
	10	諏訪圏ものづくり次世代人材確保・FS調査事業	諏訪圏工業メッセなどを機にスワモが諏訪東京理科大の学生などを主な対象に大学生と諏訪地域の企業との接点の場をつくるとともに、県外の工業大学と諏訪地域の企業が出会うための方策を検討する	R8.4～R9.3
	11	信州DCを見据えた周遊型観光ブランド確立事業	令和9年の信州DCを見据え、公共交通機関と連携し、駅周辺の歴史遺産、自然、カフェなどを組み合わせた観光周遊を提案し、鉄道で来ても楽しめる観光地としてのブランディング構築を図る。	R8.4～R9.2
	12	滞在型観光促進PR事業	令和9年度上半期のNHK朝の連続テレビ小説「巡るスワン」放映を控え注目の集まる諏訪地域に焦点をあてて、銀座NAGANOを会場として、食や歴史文化、まちあるきを絡めた諏訪の広域観光コースをPRし、諏訪地域に滞在・周遊する意欲を高めるPRを行う。	R8.11～R8.12
	13	ユニバーサルツーリズム推進2.0事業	観光地としての付加価値向上を目指し、ユニバーサルツーリズムが浸透してきた諏訪地域の観光施設において、施設の職員を対象としたユニバーサルツーリズムに関するセミナーの開催を行い、意識の醸成を図る。また、上諏訪温泉の冬の宿泊キャンペーンなどと連動し、75歳以上を対象とした後期高齢者に対するアンケート調査を実施し、施設ごとのハード面からソフト面まで宿泊施設ごとの課題について掘り起こしを行う。	R8.6～R9.3
	14	八ヶ岳西麓ワイン等の認知度向上事業	茅野市・富士見町・原村で構成される八ヶ岳西麓ワインバレーについては、2023年の発足から年数が浅くまだ十分な認知がされていないことから、認知度向上及びブランド化を図るため、ワインフェスティバルを開催する。	R8.8～R9.3
	15	諏訪湖魚食性鳥類対策推進事業	諏訪湖の漁業振興策について、魚食性鳥類による被害対策の検討に焦点をあてたWGを関係機関・団体と開催するとともに、漁業被害の主な原因となっているカワウなど魚食性鳥類の追い払い方法などの実証試験を行う。	R8.9～R9.3
	16	希少種メガネサナエの普及啓発事業	諏訪湖を含めて全国に3箇所しか生息しておらず、諏訪湖創生ビジョンにおいて指標生物として位置付けている希少なトンボであるメガネサナエについて、地域住民の関心を一層高めるため、メガネサナエの精巧な模型を作成し、センターでの展示やイベント出展の際などに活用する。	R8.5～R9.3
	17	2040年を見据えた医療提供体制推進事業	今後の人口減少や少子高齢化の進行を見据え、諏訪地域における持続可能な医療提供体制の構築等を推進するため、医療機関の枠を超えた役割分担や連携のあり方について、地域住民・医療関係者・行政がともに考えるパネルディスカッションを開催する。	R8.9～R9.2
上伊那	1	建設産業の魅力体験プロジェクト事業 ～高校生による身近な公共施設整備体験～	建設産業の魅力ややりがいを体験できる機会を提供することで次世代の担い手確保につなげるため、建設系学科の高校生を対象とした実地体験会を開催する。	R8.4～R9.3
	2	農業水利資産の郷土学習事業	地域の農業とそれを支える農業水利施設の維持管理の大切さについて理解促進を図るため、西天竜幹線水路の受益地内の小学校及び三峰川流域の小学校を対象に「農業用水探検隊」を開催する。	R8.6～R8.12
	3	はな（花）高々い～な（伊那） ～上伊那の花　認知度向	県内有数の「花の大産地　上伊那」の認知度を高めることで「花」の需要喚起や生産振興を図るため、旬の上伊那の花の展示や花カードの作成等を実施する。	R8.5～R9.3
	4	地酒・工芸品PR事業	酒類の消費拡大による酒造の振興と酒米生産の増加による農業振興及び地域の工芸品の需要拡大を図るため、イベント会場にPRブースを設け、地酒や工芸品の魅力を発信する。	R8.4～R9.3
	5	スマート農業×田んぼダム実証実験事業	スマート農業技術の普及促進や「水田を活用した雨水貯留の取組」の推進のため、農業用水路のパイプライン化が実施済みのほ場において自動給水栓等を活用した実証実験の実施や農家や検証結果について市町村担当者向けの研修会を実施する。	R8.4～R8.12
	6	みすずハイウェイバス利用促進事業	長野県150周年を契機として、みすずハイウェイバスの認知度向上と利用促進を図るため、長野県150周年ロゴを印刷したラッピングバスの運行や記念乗車証明書を発行する。	R8.6～R8.12
	7	中央アルプスの雪と高遠の桜等を活用したファムトリップ実施事業	魅力ある観光地づくりを通じた観光誘客を図るため、観光事業者等を対象とした観光モデルコースを体験してもらうファムトリップツアーの実施やその様子を紹介する動画を作成する。	R8.4～R8.12

地域振興局	整理番号	事業名	事業概要	事業期間
上伊那	8	産業観光推進事業	地域の企業・産業に関心をもつきっかけ作りや観光誘客につなげるため、工場見学や製作体験を実施している上伊那地域の企業等を広く情報発信するとともに、観光客や学生向けに製造工程の見学や製作体験のできるモデルコースを企画・作成する。	R8.4～R9.3
	9	上伊那観光PR事業	上伊那地域の知名度向上及び観光誘客を図るため、上伊那の観光PRを名古屋市等で実施する。	R8.4～R9.3
	10	上伊那地域魅力発信推進事業	上伊那地域の認知度向上を図るため、地域の特色・魅力を紹介するプロモーション動画を作成する。	R8.6～R9.3
	11	「上伊那ゼロカーボンプラットフォーム」連携推進事業	上伊那地域におけるゼロカーボンの実現を図るため、「上伊那ゼロカーボンプラットフォーム」の構成員が協働し、講演や参加者による情報交換を行うイベントを開催する。	R8.7～R9.3
南信州	1	南海トラフ地震など大規模災害に備えた地域防災力強化事業	南海トラフ地震等の大規模災害を想定し、市町村職員を対象とした研修や意見交換を行うことで、災害時の対応や役割を整理する。あわせて、外国人住民への配慮を含めた対応の考え方を共有し、地域全体の防災力の向上を図る。	R8.4～R9.3
	2	南信州とのつながり創出事業	南信州での暮らしや地域で活動する人の魅力を発信するとともに、都市部の人が地域と関わるきっかけとなる取組を行う。交流や情報提供を通じて地域への理解を深め、継続的な関係づくりや人の流れの創出を図る。	R8.4～R9.3
	3	三遠南信地域マラソン大会スタンプラリー	三県にまたがるマラソン大会を活用した企画を実施し、複数地域を訪れるきっかけをつくる。大会参加や来場を通じた周遊を促進することで、県境を越えた交流の拡大と地域間のつながり強化を図る。	R8.5～R9.3
	4	行政サービス提供体制に関する検討	人口減少が進む地域において限られた人員で行政サービスを維持するため、西部3村の教育行政を最適化に向け県教委や関係者とともに、共同化の先進地（静岡県賀茂地域等）を視察し、制度設計の参考とする	R8.4～R9.2
	5	リニア駅を起点とした二次交通の検討事業	リニア開業を見据え、駅を起点とした円滑な移動手段の確保に向けた検討を行う。関係事業者への聞き取り等を通じて、必要な準備や進め方を整理し、地域全体での受け入れ体制づくりに役立てることを図る。	R8.4～R9.3
	6	南信州民俗芸能継承推進事業	地域に受け継がれてきた民俗芸能を将来につなぐため、関係団体や企業と連携した取組を進める。展示や情報発信を通じて地域内外の理解と支援を広げ、継承活動を支える仕組みづくりを図る。	R8.4～R9.3
	7	ウッドチェンジ普及促進事業	地域の森林資源を身近に感じてもらうため、木に触れ、使う体験の機会を提供する取組を行う。木工作体験や木製品の展示・販売を通じて、暮らしの中で木材を活用する意識を高め、地域資源の循環利用や環境に配慮した行動の浸透を図る。	R8.8～R9.1
	8	クマによる人身被害ゼロを目指した総合対策の推進	クマによる人身被害を防ぐため、地域の状況に応じた点検や対策を進めるとともに、関係者の対応力向上に取り組む。住民への分かりやすい情報発信や学習の機会を設け、日常生活での注意行動の定着を図るほか、担い手の育成を通じて地域全体の安全確保を目指す。	R8.4～R9.3
	9	JR東海と連携した南信州地域への誘客促進事業	信州DCを見据え、JR東海等と連携した観光プロモーションを実施する。駅や沿線イベントでの情報発信、観光素材を活用した広報物の展開等を通じ、南信州の魅力を分かりやすく発信することで、来訪意欲の喚起と周遊・滞在の促進を図る。	R8.4～R9.3
	10	人財確保・生産性向上連携会議地域会議（仮称）における議論、取組の推進	人口減少下における人手不足や生産性の課題に対応するため、企業や関係団体が参加する地域の会議を開催する。先進事例の共有や企業視察、教育機関との連携を通じて、働きやすい職場づくりや人材確保につながる取組を地域全体に広げていく。	R8.4～R9.3
	11	上伊那・木曽地域と連携した広域観光の検討・支援事業	近隣地域と連携し、広域での周遊を促す観光の取組を検討・実践する。食や体験など共通の切り口を活かした企画や情報発信を行い、複数地域を巡る動きを生み出すことで、滞在時間の延長や消費の拡大につなげることを図る。	R8.4～R9.3
	12	南信州TRIP JAM会議の開催、旅行商品造成及びPR	南信州の強みや将来性を整理し、観光関係者が集まる会議を通じて新たな旅行商品の検討を行うユニバーサルツーリズムを軸にした体験型ツアーの試行や情報発信に取り組み、地域の魅力を分かりやすく伝えることで、来訪のきっかけづくりを図る。	R8.4～R9.3
	13	三遠南信自動車道開通を見据えた三河港の利活用について	三遠南信自動車道の開通を見据え、三河港の活用可能性を探るため、管内企業を対象とした意向調査等を実施する。港湾関係者への聞き取りや現地視察を通じて、物流や産業連携のニーズや課題を整理し、今後の広域的な産業交流の検討に役立てる。	R8.4～R9.3

地域振興局	整理番号	事業名	事業概要	事業期間
南信州	14	主要観光地での伝統的工芸品の情報発信	南信州の伝統的工芸品の魅力を伝えるため、観光客が多く集まる地域で展示や体験の機会を設ける。外国人を含む来訪者に向けた情報発信やワークショップを通じて、工芸品への理解を深めるとともに、新たな販路や関心の広がりにつなげることを図る。	R8.4～R9.3
	15	日本なし産地再生プロジェクト活動	地域特産である日本なしの魅力を発信するため、製菓事業者等と連携した商品づくりと販売促進を行う。収穫期に合わせたキャンペーンや広報を通じて、消費者の関心を高めるとともに、生産者と地域住民が一体となった産地づくりを進めることを図る。	R8.4～R8.10
	16	地域保健と職域保健の連携による企業等の健康意識の向上推進及び地域の食育の推進	地域の医療・健康分野と企業が連携し、働き盛り世代の健康づくりを進める取組を行う。体験型イベントや情報発信を通じて、生活習慣の見直しや食生活への関心を高め、企業や地域全体で健康づくりに取り組む意識の向上を図るとともに、切れ目のない支援体制の構築につなげる。	R8.6～R9.3
木曽	1	御嶽山国定公園魅力発信及び御嶽山安全対策事業	・御嶽山国定公園指定を周知するための「のぼり旗」を増刷し、地域住民の認識向上を図るとともに、国定公園を活用した地域振興につなげる。 ・火山防災の先進地視察を行い、御嶽山の安全対策の向上や観光振興に寄与する効果的な情報発信のあり方を検討する。	R8.5～R8.12
	2	人口減少対策推進事業	・銀座NAGANOにおいて、木曽青峰高校全国募集の周知と合わせて、移住PR・相談会を開催する。また、三大都市圏の移住相談員（東京・名古屋・大阪）に対し、木曽地域の求人情報の提供等を行うとともに、情報交換を行う。 ・大学等と連携し、人口減少下の地域課題解決に資するドローン活用の新たなユースケースの創出・実装を支援する。（例：ふるさと納税の返戻品としてドローン空撮サービスを提供）	R8.6～R9.3
	3	木曽地域リニア活用推進事業	リニア中央新幹線開業に向けて「木曽地域リニア活用推進協議会」を開催し、地域の特性を活かした県境を跨ぐ観光地域づくり等を検討する。	R8.6～R9.3
	4	信州まつもと空港発レンタカー利用促進キャンペーン事業 （松本地域振興局）	まつもと空港を起点とした広域周遊を図るため、レンタカーの利用を促進する特典パスポートの作成やシステムの運用を行う。（松本、諏訪、木曽、北アルプス、長野、上田で負担）	未定
	5	社会的起業支援事業	木曽地域で起業を目指す方を対象に、起業マインドを高めるための研修会を開催する。また、過年度の研修会参加者を対象にフォローアップ講座を開催する。	R8.5～R8.10
	6	木曽地域広域観光推進体制整備事業	県が木曽広域連合に参画するにあたり、広域観光の推進体制の整備等に要する経費を木曽広域連合に対して支出する。	R8.6～R9.3
	7	地域の食材（木曽牛・伝統野菜・酒米）を活用した魅力発信事業	・そば協議会、酒造組合木曽支部等と連携し、地域食材のPRを後押しする。 ・地域食材の消費を拡大し、生産等に係る農業と担い手を支援する。	未定
	8	地域防災力・減災力の強化	・災害急性期における医療・福祉分野の連携強化を目的に、DMAT・DWAT等の専門チームの役割や地方本部の設置・運営方法に関する研修を実施する。 ・災害時の情報共有・意思決定を円滑化するため、クロノロジー（経時活動記録）の作成演習を行い、災害保健情報システムなどを活用した情報収集・分析手法を習得する。	未定
	9	木曽地域木材産業振興対策推進事業	・産学官協働により組織する「木曽地域木材産業振興対策協議会」を開催する。 ・高品質製材のためのJAS認証工場を核とした地域製材工場の水平連携の体制づくり等に係る先進地視察等を行う。 ・都市部展示会への出展による木曽産木材製品の魅力発信 ・「木曽カラマツ」を戦略的に利用推進するための主伐・再造林や林業機械化の推進に係る、先進地講演会や戦略会議を開催する。 ・三校連携(林大・木曽青峰・上松技専)の推進を図るための現地見学会等を開催する。 ・上松技術専門校、木曽青峰高校との協働による「信州ハンドクラフトフェスタ」へ参画する。	R8.6～R9.3
	10	木曽青峰高等学校森林環境科・インテリア科全国募集推進事業	・全国募集のための広報活動として、一般財団法人　地域・教育魅力化プラットフォームが行う「地域みらい留学」の対面合同学校説明会へ出席し、当校の魅力を発信する（大阪会場分）。	R8.6～R9.3
	11	木曽谷・伊那谷の伝統工芸の継承と情報発信事業	木曽青峰高校インテリア科の生徒が、後継者不足に悩む南木曽町（木地師の里）において、伝統技術を学び、技術の継承を行うとともに、情報発信を行う。	未定

地域振興局	整理番号	事　業　名	事　業　概　要	事業期間
松本	1	信州まつもと空港利用振興事業	空港利用者の増加に向けた事業や、空港を起点とした観光振興・賑わい創出を図るための事業を実施し、空港及び松本地域のさらなる活性化や魅力発信を推進する。 ［事業内容］ ・空港発ドライブ観光パスポートの配布による周遊観光振興 ・利用促進PRチラシの配布 ・県外者へのPR強化のため、就航先でのデジタルサイネージ動画の掲出【6局（松本・諏訪・木曽・北アルプス・長野・上田）共同事業】	R8.4～ R9.3
	2	地元特産品魅力発信事業	信州まつもと空港の定期便就航地において、松本地域の特産品であるワイン、伝統的工芸品及び農産物を柱に魅力を発信し、ファンの開拓を図るとともに、空港の利用促進につなげる。 ［事業内容］ 「RKBカラフルフェス2026」（福岡市）への出展 ・時期：10/10～11 ・内容：ワイン、伝統的工芸品、農産物、福岡便のPR展示等	R8.8～ R9.1
	3	地元農畜水産物魅力発信事業	県外からの観光客と地域住民が来訪する信州まつもと空港及び松本駅において、松本地域の農畜水産物の魅力を発信し、地元産のファンの開拓による販売促進を図るとともに、空港の利用促進につなげる。 ［事業内容］ ・信州まつもと空港スカイフェスティバルにおける農産物PRイベントの実施 ・松本駅等における松本地域産花き展示の実施	R8.8～ R9.2
	4	信州まつもと空港・信州スカイパーク連携イベント事業	信州まつもと空港と第82回国民スポーツ大会及び第27回全国障害者スポーツ大会の総合開・閉会式及び陸上競技等の会場となる松本平広域公園をつなぐイベントの開催により、地元住民の方にエリア全体を楽しむことを再発見していただき、地域の活性化につなげる。 ［事業内容］ ・謎解きイベント（松本空港・スカイパーク連携開催）	R8.8～ R8.11
	5	大規模災害への対応能力向上事業	能登半島地震や豪雨災害など毎年発生している自然災害に対し、防災対応職員の意識と対応能力向上のための学習会を開催する。 ［事業内容］ ・防災研修会の開催	R8.8～ R8.11
	6	“木工の街”信州松本産木工品PR事業	松本地域は古くから「民芸とクラフトの街」として知られており、現在、管内には木工品を製造する企業や個人が100以上存在し、様々な木工品が開発・製造されている。 松本地域の貴重な森林資源を活用した木工品のPRを行うことで、森林の大切さや木を使うことの意義を多くの県民に周知し、県産材の利用促進を図る。 ［事業内容］ ・松本駅東西自由通路、信州まつもと空港スカイフェスティバル、松本市立博物館での展示・木工体験等	R8.5～ R8.11
	7	風食防止対策のための緑肥作物導入推進事業	松本南西部地域において問題となっている風食を防止する対策として、緑肥作物による冬期間の農地被覆を拡大することは、土壌の飛散防止に加え、野菜生産における化学肥料施用量の削減につながる。優良農地の保全と、農家の肥料費の削減により、産地の維持発展を目指す。 ［実施内容］ ・地域農業者向け研修会の実施（2回） ・風食防止対策のための緑肥作物導入啓発資料の配布	R8.5～ R9.3
	8	信州まつもと広域圏まるごと移住支援事業	松本地域の知名度を活かし、管内市村と連携した移住相談会等の開催により、各市村の移住促進につなげていく。 ［事業内容］ ・移住相談会の開催（東京交通会館・中京圏（名古屋）での新規開催） ・移住相談会での就農PR ・移住対策検討会議の開催（年数回） ・市村視察、先進地事例研修会の開催（年1回）	R8.5～ R9.3

地域振興局	整理番号	事　業　名	事　業　概　要	事業期間
松本	9	農業資産魅力発信事業	「水・農業」の風景を形成する農業用水路を地域住民から愛着のある施設とするため、水路の現地見学会を通じごみ等の不法投棄の減少を図り、魅力ある田園風景の維持・保全につなげる。 ［事業内容］ ・小学4年生を対象とした拾ケ堰見学会の開催 ・農業用水路を標記したクリアファイルを作成し、学校での追加学習に活用 ・長野県150周年記念缶バッジを作成し、つなぐ棚田遺産等のイベント	R8.4～ R8.11
	10	地域公共交通利用促進・啓発活動事業	地域公共交通、特に管内8市村のバス路線の現状等の発信を含む利用促進・啓発活動を行うことで、通勤・通学・買い物など生活の足として必要不可欠な地域公共交通を、将来に渡って維持・利用する意識を醸成する。 ［事業内容］ ・令和8年4月から、管内の一部路線バスに県下統一の「地域連携ICカード」システムが導入され、対象の路線バスと鉄道のシームレスな移動が可能になることから、「地域連携ICカード」のPR活動と併せ、路線バスの定期券又は回数券の購入促進事業を実施	R8.6～ R9.2
	11	地域の有機農産物等を活用した有機等給食推進事業	地元の小中学校及び保育園における給食での地域の有機農産物等の利用拡大により、食育や有機農業への理解の促進を図るとともに、地域振興の推進、またゆたかな暮らしの定着や移住の促進を図る。 ［事業内容］ ・有機農産物等の取引実態把握に係る調査 ・有機農産物等を利用した給食メニューの導入推進 ・有機農産物等のお試し給食会	R8.7～ R9.3
	12	県土強靭化・逃げ遅れゼロ啓発事業	災害による人的被害をなくすため、警戒避難体制の構築や防災知識及び意識の向上により、住民主体の防災意識が高い社会の構築を目指し、県土強靭化・逃げ遅れゼロを目指す。 ［事業内容］ ・将来を担う若年層への防災教育の強化に取り組むため、まちづくりボードゲームをブラッシュアップし、小学校での防災授業等の活用充実により、防災意識等の啓発を実施	R8.4～ R9.1
	13	インバウンド需要の確保及び拡大に資する有識者講演会等の開催	松本地域観光戦略会議において、有識者からインバウンド需要獲得に資する先進的な取組み事例を伺うと共に、地域内の宿泊・飲食といった様々な企業の現状と課題に焦点を当て、今後取り組むべき方策について広く関係者間で共有し、面的な連携を創出する特別講演及びパネルディスカッションを開催する。 ［事業内容］ 特別講演及びパネルディスカッションの開催 ・日時：令和8年11月中下旬（予定） ・場所：信毎メディアガーデン1階ホール（予定） ・実施内容：有識者による特別講演、地域内観光事業者等によるパネルディスカッション	R8.6～ R8.11
	14	信州デスティネーションキャンペーンでの管内市村の魅力発信に資する取組支援	信州デスティネーションキャンペーン（全国宣伝販売促進会議）及びエクスカーションでの管内市村の情報発信に関する取組支援 ［事業内容］ 全国宣伝販売促進会議の開催 ・日　　時：令和8年9月2日（予定） ・場　　所：ホテルメトロポリタン長野 ・実施内容：管内市村の地域産品や体験アクティビティの提供	R8.8～ R8.9
	15	公共施設マネジメントセミナー	事業の実施により、行政のキーパーソンが公共施設運営の課題解決につながる事例や、公共施設のポジティブな活用策などに触れることで、地域の取組の活性化に繋げる。 ［事業内容］ ・公共施設マネジメントセミナー事業の実施により、行政のキーパーソンが公共施設運営の課題解決につながる事例や、公共施設のポジティブな活用策などに触れることで、地域の取組の活性化に繋げる。 ［事業内容］ ・公共施設マネジメントセミナー ・日　時：令和9年2月頃（予定） ・場　所：未定	R8.8～ R9.2

地域振興局	整理番号	事業名	事業概要	事業期間
北アルプス	1	北アルプス地域農産物海外販路調査事業	コメ、園芸品目等の有利販売に向けた海外販路開拓のための調査等を実施する。 ・台湾における販売動向調査 ・台湾輸出に関する商談等打合せ	R8.4～R9.2
	2	広葉樹林業のビジネス化事業	主要な地域材である広葉樹の活用推進のため、新たなビジネスモデルの構築を図る。 ・製材マルシェ等の開催 ・地域内での製材品乾燥の仕組みづくり ・モデル製品の開発、PR	R8.4～R9.3
	3	信州まつもと空港発レンタカー利用促進事業	空港発レンタカー利用者に対し、地域内での周遊、滞在、消費の促進を図る。 ・システム運用費 ※ 松本、上田、諏訪、木曽、長野地域振興局との6局連携事業	R8.4～R9.3
	4	北アルプスサイクルツーリズム推進事業	サイクリング環境を整え、地域の魅力を広く発信することで、サイクルツーリズムの取組を加速する。 ・北アルプス地域サイクリングモデルコース走行動画撮影等	R8.4～R9.3
	5	北アルプス北部山域イメージアップ事業	安全登山の留意事項・マナーや山岳写真等を記載したカードを作成し、自然保護レンジャー・登山相談所等により配布し、登山者等の安全確保とマナー向上を図る。 ・「登山安全・マナーカード」の作成・配布	R8.7～R9.3
	6	北アルプス産日本酒等観光活用魅力発信事業	地域の周遊観光での活用に向け、地元産の日本酒・ワイン・地ビールの魅力発信の取組を推進 ・地元酒造事業者等と連携し、首都圏旅行エージェントに売込み	R8.4～R9.2
	7	北アルプスの麓で暮らし・働く大相談会2026	主に首都圏在住者を対象に、圏域一体として地域の暮らし、仕事、住まい等の情報を提供し、地域の魅力や特色を伝え、移住定住につなげる。 ・市町村との共催による移住相談会の実施 ・北アルプス連携自立圏との連携	R8.7～R9.3
	8	「Kita Alps地域おこし協力隊通信」発行事業	管内の協力隊員の活動状況を把握、情報発信し、円滑な活動と任期終了後の地域への定着を促進する。 ・「Kita Alps地域おこし協力隊通信」を発行	R8.4～R9.3
	9	地域おこし協力隊等起業塾	地域おこし協力隊の定着率の向上及び女性の起業支援を行い、地域への人材の定着を目指す。 ・県立大学と連携した起業塾の開催 ・卒塾生を対象としたフォローアップ講座の開催 ※長野、北信地域振興局との3局連携事業	R8.4～R9.3
	10	パラスポーツ等を通じ障がいへの理解を深める事業	パラスポーツ（障がい者スポーツ）の体験の場を創出するなど、誰もが違いを認め合いながら共に生きることのできる地域づくりを進める。 ・パラスポーツ等体験会の開催	R8.4～R9.3
	11	生活習慣病予防対策推進事業	信州ACEプロジェクトの推進、がん予防の啓発を行い、地域住民の生活習慣病及びがんの予防を推進する。 ・北アルプス地域ACEフォーラムの開催	R8.10～R9.3
	12	シニアの居場所づくり支援事業	身近な地域で活躍できる居場所づくりの機運を高め、シニアの社会参加を促進する。 ・居場所づくり実践に係る情報発信	R8.7～R9.3
	13	北アルプス地域魅力発信強化事業	・北アルプス地域の多様な魅力を効果的に発信するため、北アルプス地域の魅力発信検討チーム（動画班）が主体となって動画を制作する。	R8.4～R9.3
	14	医療の仕事魅力発信・人材確保推進事業	医療人材の確保を図るため、医療関係者による情報交換を行うとともに、課題の共有を図り、医療の魅力を発信する。 ・PRチラシ作成	R8.4～R9.3
	15	北アルプス山麓農畜産物PR情報発信事業	北アルプス山麓ブランド認定品等の販路開拓のため、消費者へのサイトやSNS等による情報発信、観光事業者と連携したPR映像の制作を行う。	R8.4～R9.2
長野	1	地域防災人材育成事業	管内市町村を対象とした地域防災力向上のための研修を実施	R8.4～R9.3
	2	移住希望者等向け管内魅力情報発信の充実事業	移住促進に係る新たな配信コンテンツによる情報発信やWEB広告によるアクセス誘導を実施	R8.4～R9.3
	3	移住取組事例研修・座談会の開催事業	移住促進に効果のあるモデル事業の発表、移住に関する意見交換を実施	R8.4～R9.3
	4	地域おこし協力隊隊員確保・活動・定着支援事業	地域おこし協力隊員の地域定着のため、起業塾やフォローアップ講座等の開催	R8.4～R9.3

地域振興局	整理番号	事業名	事業概要	事業期間
長野	5	信州まつもと空港利用振興事業	冊子版「レンタカーDeぐるっ得パス」の配布による周遊観光促進	R8.4～R9.3
	6	長野地域版2050ゼロカーボン普及啓発事業	地球温暖化を自分事化し、行動変容につなげるようオリジナルカレンダー等を活用した啓発を実施	R8.4～R9.3
	7	（新）自然環境利用者マナー啓発事業	自然を楽しむ際のマナーを向上させるため、自然観光地の観光客向けに啓発活動を実施	R8.4～R9.3
	8	（新）長野地域発　ツキノワグマ対策推進事業	行政職員がツキノワグマの出没時に適切な対応ができるよう研修を実施	R8.4～R9.3
	9	（新）長野地域産スギ材活用推進事業	地域産木材の利活用促進のため、木材事業者等を招いたフォーラムを開催	R8.4～R9.3
	10	体験型観光デジタル活用促進事業	周遊観光等の推進のため、SNSを活用したデジタルスタンプラリーを実施	R8.4～R9.3
	11	ワインツーリズム推進事業	安定したワインの販路を確保できるよう、バイヤー向けに醸造所等の見学会を開催	R8.4～R9.3
	12	（新）未来人材育成・社会科見学支援事業	将来的な人材確保につながるよう地域内の企業と連携し、小学生を対象としたキャリア教育を実施	R8.4～R9.3
	13	伝統的工芸品振興事業	伝統工芸品の認知を高めるため、作陶体験や展示により魅力発信を実施	R8.4～R9.3
	14	長野地域産業DX推進事業	中小企業のDX化推進のため、専門家派遣による伴走支援を実施	R8.4～R9.3
	15	長野・北信サイクルツーリズム推進事業	サイクリングインフラを活用した観光誘客を推進するため、モデルコースの情報発信を実施	R8.4～R9.3
	16	プロスポーツチームとの連携・協働による地域活性化事業	プロスポーツチームとの連携による長野地域の観光・農産物等の魅力発信、応援の気運醸成	廃止
	17	ながの果物語り　長野地域産果物魅力発信事業	地域産果物の認知を高めるため、宿泊施設や観光施設において、地域産果物の魅力を発信	R8.4～R9.3
	18	（新）果樹産地を支える労働力の確保促進事業	果樹産業の担い手確保のため、農作業マッチングアプリや農福連携による普及啓発を実施	R8.4～R9.3
	19	樹園地事業	樹園地の円滑な継承のため、高山村内で実施したモデル事業のブラッシュアップを実施	R8.4～R9.3
	20	長野地域健康づくり情報発信強化事業	減塩の普及のため、大学と連携しメニューの開発やSNSによる情報発信を実施	R8.4～R9.3
	21	スポーツによるコミュニティ活性化事業	不登校生徒に対するスポーツ活動の充実のため、指導者向けのセミナーを開催	R8.4～R9.3
	22	「全国宣伝販売促進会議」における長野地域の魅力発信事業	観光誘客の促進と観光需要の拡大を図るため、全国の観光関係者の集まる場で観光資源のPRを実施	R8.9
北信	1	多世代交流の居場所づくり事業	地域の担い手による「こどもの居場所（みんなの居場所）」づくりの推進 ・居場所づくりセミナーの開催	R8.4～R9.3
	2	地元高校生向け「学び」・「起業」支援事業	地元高校生の郷土愛を育み、魅力ある就労のイメージを想起させる機会の提供 ・ワークショップの開催 ・地元で働く方との交流（企業見学等）	R8.4～R9.3
	3	地域おこし協力隊等定着支援事業	隊員活動と地域定着を支援 ・定着支援研修会 ・起業塾の開催 ・協力隊OB・OGによる相談業務	R8.4～R9.2
	4	移住・定住施策連携推進事業	管内市町村での生活実態や魅力の発信、取組・課題の共有 ・市町村合同での移住フェアへの出展 ・管内市町村、移住相談員との情報交換会の開催 ・パンフレットを活用した移住の情報発信。	R8.4～R9.3
	5	北信州ぐるっと！食と農の魅力発見デジタルスタンプラリー2026	地域食材の認知度向上と消費拡大 ・特産食材を使用したメニューを提供する飲食店等と連携したスタンプラリーの実施 ・小学校・保育園等での地域食材による食育イベントの実施	R8.4～R9.3
	6	雪室利活用プロジェクト事業	地域資源である雪を活用した特産品づくりによる地域活性化 ・道の駅や銀座NAGANOでのイベントの開催 ・長野県美術専門学校と連携した情報発信	R8.4～R9.3

地域振興局	整理番号	事業名	事業概要	事業期間
北信	7	広域観光プロモーション事業	・管内市町村と協働したツーリズムエキスポジャパン2026（東京）への出展 （局・市町村で2ブース以上出展） ・新潟県と連携した観光プロモーションイベントの開催	R8.4～ R9.3
	8	北信州「酒 ツーリズム」推進事業	北信地域の酒造りを軸とした誘客の促進 ・酒と食のペアリングイベントを開催（プレDC事業）	R8.4～ R9.3
	9	周遊観光のための情報発信事業	集客力のある観光地等から周遊促進 ・そば、酒パンフレットの更新・増刷による情報発信	R8.4～ R9.3
	10	雪国が育む食文化等発信事業	食文化等の発信による誘客や関係人口の創出 ・アンテナショップを活用した首都圏での情報発信	R8.4～ R9.3
	11	伝統的工芸品情報発信事業	伝統的工芸品の認知拡大と後継者育成を目的とした飯山駅前で伝統工芸の発信イベントの実施。（長野県150周年、プレDC関連事業） ・住民・観光客向けに体験やライブ、多言語展示、スタンプラリーを実施	R8.4～ R9.3
	12	広域サイクリング推進事業	信越自然郷の隣接エリアと連携した、サイクリングによる広域観光の推進 ・モデル地域での試行実施 ・イベントへのブース出展による情報発信 ・広域サイクルツーリズム推進に係る会議への参画	R8.4～ R9.3
	13	除雪作業の安全対策普及促進事業	除雪作業における事故防止 ・各地域での事故防止対策の情報共有や安全講習会の実施 ・ポスター・リーフレット・動画による啓発	R8.4～ R9.3
	14	地域資源を活かしたゼロカーボンの推進事業	再生可能エネルギー導入支援や脱炭素社会づくりの機運醸成 ・勉強会や課題解決のための専門家派遣 ・雪国における太陽光発電設備設置普及のための動画及びリーフレットの作成	R8.4～ R9.3
	15	ツキノワグマDNA鑑定体制検討事業	ツキノワグマの痕跡のDNA鑑定による問題個体の特定、行動範囲の把握 ・民間機関等への分析委託	R8.4～ R9.3